

市電のふるさと

No.19
2009



昭和28年(1953年)7月の豊平橋(提供:札幌市写真ライブラリー)

もくじ

特集 1 「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を行いました。	1
特集 2 「市電と沿線の古い写真、集めます」	2
Topics	3~6
お知らせ	7

「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」を行いました。

市電の会では、平成18年度から札幌市中央区との協働により、「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」と称して、市電と沿線が市民や観光客に親しまれるよう、「市電沿線ぶらりまちあるきマップ」の企画・編集や、このマップを利用したフォトラリーなどを行っています。

平成20年度に実施した活動は次のとおりです。

① 市電沿線ぶらりスタンプラリー

平成20年8月31日（日）に行われた市電フェスティバルの際に、「市電沿線ぶらりスタンプラリー」を行いました。これは、市電に乗って市電沿線の施設を巡っていただくことにより、市電と沿線の魅力に触れてもらおうと行ったものです。市電フェスティバルを楽しんでからの帰りがけに参加できるよう、受付時に応募用はがきの付いたスタンプ用紙を手渡したところ、午前中だけの受付にもかかわらず164人の方々に参加していただきました。参加者は、札幌市資料館、ギャラリー土土どっこい窯、札幌市中央図書館、豊平館のうち



② チャレンジ・ザ・市電

2施設を巡り、最終的に50人の方から応募がありました。当会で厳正な抽選を行い、30人の方に市営交通オリジナルグッズ「ハローキティボールペン」と「ハローキティシャーペン」をお送りしました。

市電フェスティバルの午後からは、市電と沿線の歴史に関するクイズを通じて、市電と沿線についての認識を深めてもらおうと、「チャレンジ・ザ・市電」を行いました。参加者は解答用紙を受け取ると、ブース裏のバックネットに張った「市電沿線ぶらりまちあるきマップ第7号」と「市電沿線歴史再発見フォトラリーマップ」を見ながら5問のクイズに挑戦。昔のことを中心に出題したため、小さなお子様には少々難しかったかもしれませんが、280人の方にご回答いただきました。抽選の結果30人の方に、市営交通オリジナルミニチュア模型「ササラ電車ミニ」と、円山動物園オフィシャルグッズとして札幌スタイル認証製品である保冷ランチボックス「GELIC O Oま」（じえるくーま）を景品としてお渡ししました。



③ 市電沿線「文化がかおる」フォトラリー

平成19年度に行った「市電沿線歴史再発見フォトラリー」に引き続き、20年度は「文化」を通じて市電と沿線の魅力に触れていただく

「市電と沿線の古い写真、集めます」

全盛期には中央区だけでなく、現在の北区と豊平区にも走り、市民の重要な交通手段であった市電。市電や沿線の写真は、札幌市の移り変わりやまちの姿を知ることのできる貴重な証拠といえます。

市電の会では、そのような写真を集め、後世に引き継いでいこうと、昭和以前の市電と沿線の写真を集めていますので、ご協力をお願いします。

なお、集まった写真は、今後展示会や市電の会会報等で紹介していく予定です。

① 募集する写真について

市電の沿線だと分かる写真に限ります。

と、「市電沿線」文化がおおる「フォトラリー」を行いました。実施期間は、平成20年10月11日（土）から平成20年11月30日（日）まで、ラリーポイントは渡辺淳一文学館や本田明二ギャラリーなどの文化的な8施設。参加者には市電に乗ってラリーポイントの写真を撮っていただけ、3カ所以上の写真をお送りいただいた方から抽選で30人に「水彩画鉛筆画家鈴木周作氏ポストカードセット（5種類×2枚）」を、8施設すべての写真をお送りいただいた方からダブルチャンスとして抽選で20人に、「市電の会オリジナルウィズユーカーカード（3枚）」をプレゼントしました。写真には、親子で写っているものや、アングルを工夫したものなど、参加した方の個性が見えるものが多く、市電沿線の旅を楽しんでいただけただようです。

市電の会では、平成21年度も楽しみながら市電と沿線の魅力に触れたいだけのような行事を行っていく予定です。広報さっぽろ中央区

版や札幌市中央区のホームページにも情報を掲載しますので、時々チェックしてみてくださいと思います。



② お寄せいただくにあたって

写真が撮影された時期や場所等を明記した紙などを添付してください。（例：「昭和33年ごろの札幌駅前付近」と書いた紙を写真の裏にテープで貼るなど。）

③ 受付方法

7ページに記載の市電の会事務局にて、持参、郵送、インターネットメールにより受け付けます。

お寄せいただく際には、郵便番号、ご住所、お名前、写真発表時のお名前公表の可否、写真返却の希望の有無、をお知らせください。

Topics 1

市電フェスティバル

平成20年8月31日（日）、電車事業所（南21条西16丁目）と隣接する市立伏見小学校サブグラウンド（南22条西15丁目）を会場に、第4回市電フェスティバルが行われました。これは、中央区のシンボルの存在である市電をテーマとしたイベントを実施することにより、市電に対する愛着を一層深めていただくとともに、市電沿線の区民のふるさと意識を醸成し、地域の活性化を図ることを目的に行われているものです。

この日は好天に恵まれたこともあり、来場者は約11,000人と、過去最高の人出となりました。電車事業所では、運転台体験、市電と綱引き、市電と写真撮影などが、伏見小学校サブグラウンドでは、軽音楽などのステージイベントやミニてつくん運行のほか、山鼻未来・ネットワーク協議会による露店や縁日などが行われ、多くの家族連れなどが、夏の終わりのひとときを楽しみました。

市電の会も協力という形で参加。15人の賛助会員の方々のご協力をいただきながら、賛助会員入会の受付のほか、前述の「市電沿線ぶらりスタンプラリー」や「チャレンジ・ザ・市電」などを行い、多くの方々に楽しんでいただくことができました。



市電の会ブース



ミニてつくん



市電と綱引き



運転台体験



露店



ステージイベント

にぎわう会場

第9回全国路面電車サミット

平成20年10月17日(金)から平成20年10月19日(日)までの3日間、第9回全国路面電車サミットが福井市で開催されました。これは、全国の路面電車愛好支援団体の情報交換と意見交換を目的にはば隔年で開催されているものです。サミットには全国から路面電車愛好支援団体19団体などが参加し、市電の会からは吉中新太郎会長が参加しました。

サミットでは、まちづくりと絡めながらLRT*(ライト・レール・トランジット)の整備状況と将来性などが講演会などで紹介されたほか、LRT軌道を導入したまちづくりを進めている森雅志 富山市長と、将来LRTの整備によるまちづくりを目指す東村新一 福井市長の会談も行われ、ユーモアを交えた会話には、会場から笑い声も起こり、会談は大いに盛り上がりました。最後には、サミット宣言を採択して終了。以下にサミット宣言を掲載します。

私たち全国の路面電車愛好支援団体と軌道事業者ならびに人と環境にやさしいまちづくりについて深い関心を持つ市民は、全国トップクラスの自家用車保有率でありながら、地域一体となって地方鉄道を再生させた福井市にっとい、路面電車を活用したまちづくりの新しい制度や手法、それぞれの地域における取組みについての情報交換をとおして、それぞれの地域において路面電車が担う新たな役割を明確にし、LRTへ進化させることが重要であるとの認識を深めた。

私たちは、LRTへの進化によってまちづくりと連携した機能性の向上、および路面電車と鉄道・バス・自転車との連携強化による利便性の向上をはかることにより、自動車に頼らなくても暮らしやすいまちの実現を目指し、ここ

に次のことを宣言する。

- 一、路面電車が地域公共交通ネットワークの基幹としての役割をはたせるよう、事業者は路面電車の機能と利便性の向上になお一層の自助努力を行い、愛好支援団体は事業者や地域と連携してこの取組みを支援します。
- 一、路面電車が持つ良質な都市の社会基盤としての資質が活用されるよう、それぞれの地域においてまちづくりと一体となった交通体系づくりを自治体に働きかけ、市民にもアピールを行い、計画づくりに積極的に参画します。
- 一、路面電車が人にも環境にもやさしい地域のシンボルとして認知されるよう、路面電車により親しんでもらえるさまざまな取組みを行います。
- 一、路面電車を活用したまちづくりの取組み成果が全国各地で共有されるよう、活発な地域間交流を行うとともに、次の第10回全国路面電車サミットを富山市で開催します。

平成20年10月19日

全国路面電車愛好支援団体協議会

全国路面軌道連絡協議会

全国路面電車サミット2008福井大会実行委員会

* LRTとは、Light Rail Transit (ライト・レール・トランジット)の略で、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時制、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのことです。



Topics 3

2009 Walk Sapporo Pass
ほ
ウオークさっ歩ろ
バス
歩らりまち旅
～市電で散策～

利用期間 / 2009年 5/31(日)～11/8(日)
販売価格 500円

ウオークさっ歩ろバス専用 市電1日乗車券

このUICで
さあ、さっ歩ろの
歩ろを楽しみたい

5	6	7	8	9	10	11	月			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

利用する月と日を選んで
購入する日に使ってください

ウオークさっ歩ろバス発売中!

「ウオークさっ歩(ほ)ろ」は、札幌市が平成20年6月25日に環境問題に取り組み決意として公表した「環境首都・札幌」宣言につながる取組で、「健康でありたい」、「環境を守りたい」、「まちの魅力に触れたい」、「スポーツを楽しみたい」という気持を「ウオーク(歩く)」で結びつけた概念で、札幌市の関係部局が一体となり、ウオーク(歩く)に関心のある市民の皆さんと手を携えることにより、新たなムーブメント(動き)を起こそうというものです。

これを受けて、NPO法人札幌歩こう会と札幌市などで組織するウオークさっ歩ろ実行委員会では、昨年に引き続きウオークさっ歩ろバスを発売することになりました。

ウオークさっ歩ろバスとは、大人1人と子供(小学6年生まで)1人が市電乗り放題となる路面電車1日乗車券付きのガイドブックで、このバスに交通安全リストバンドが付いて1冊500円で発売しています。

Topics 4



札幌市交通局が制服を一新!

市交通局では、この4月から運輸関係職員の制服を一新し、市電の運転手も新たな制服で業務に就いています。

新たな制服の色はダークブラウンで、デザインもシングルスーツへ変更し、生地もグリーン購入法に適合したものとすなど、動きやすく環境にやさしいものとなっています。

発売場所は地下鉄定期券発売所など市内53カ所、利用期間は平成21年5月31日（日）から同11月8日（日）までとなっています。
 パスには、市電沿線5施設の観光文化施設等を巡るモデルコースを紹介したまち歩きマップが紹介されているほか、飲食店情報なども掲載されています。また、各種クーポン券が付いていて、サッポロドラッグストアー西線店（中央区南7条西15丁目）と南11条店（中央区南11条西10丁目）では、クーポン券と健康粉末飲料が引き換えられます。
 このウオークさつ歩るパスの効果で、より多くの人が市電沿線の魅力に気付いていただけることとなりそうです。

2段ステップ車両に補助ステップを設置。手すりも交換しました

札幌市交通局は、2段ステップの車両19両に補助ステップを設置するとともに、手すりの交換を行いました。2段ステップの車両は、1段あたりの高さが高いため、特にお年寄りなどにとって乗りにくい面がありました。補助ステップ設置により1段あたりの高さが低くなり、より乗車しやすいものとなりました。さらに、手すりを交換することによりつかみやすくなり、楽に乗ることができるようになりました。この手すりは地下鉄6000形車両の手すりを利用したものです。

平成20年9月16日（火）に第一号の営業運転が開始され、9月30日（火）までに全19両に設置が完了しました。実際に利用した方から、札幌市交通局に感謝の手紙が送られてきたとのことで、利用者からの評判も上々のようです。



補助ステップ

制服が新しくなるのは平成6年以来15年ぶり、2009年は1月にICカード乗車券SAPICA（サピカ）の地下鉄でのサービス開始、また、3月に地下鉄東西線全駅でのホーム柵の供用開始など、お客様の利便性・安全性が飛躍的に向上する年となるため、この時期に合わせて一新をしたとのことです。
 市交通局では、これを機に、職員に安全で安心、便利で快適、そして、親切で思いやりあふれるサービスの提供といった職責をさらに浸透させ、局が一丸となってお客様サービスを一層向上させていきたいとしています。

お知らせ1

「路面電車の日」記念スタンプラリー

(財)札幌市交通事業振興公社では、路面電車の日である6月10日を記念して、「路面電車の日」記念スタンプラリーを行っています。これは、市電沿線にある施設等を訪れることにより市電沿線の魅力を再発見してもらうとともに、市営交通の更なる乗客誘致とイメージアップを図ろうと行われるものです。

ラリーポイントは、八窓庵など計20カ所。どサンこパスや1DAYカードなどを提示し、スタンプ帳を受け取り、押したスタンプの数によって記念品がもらえます。

スタンプ帳の配布(先着500名)及び記念品の贈呈は、札幌市交通事業振興公社総務部事務室又は地下鉄大通駅コンコース内忘れものセンター前で行います。

この機会にぜひ市電沿線の旅に出かけてはいかがでしょうか？



問い合わせ先：(財)札幌市交通事業振興公社 TEL(011)251-0822

お知らせ2

「市電の会」賛助会員募集

市電の会では賛助会員を募集しています。市電が好きな方ならどなたでも入会できます。年会費は、個人1,000円、団体10,000円。入会された方には会員バッジ(新規会員のみ)と特製ウィズユーカード「さっぽろ市電歴史シリーズ」(500円)を差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や区内の各まちづくりセンターでお渡しする入会申込書に会費を添えてお申し込みください。また、郵便局からの払込みもご利用いただけます。(「払込取扱票」(赤色)に口座番号02740-6-94026と加入者名を「市電の会」と記入のうえ払い込んでください。手数料はかかりません。)

さらに、インターネットによる受付も行っています。詳しくは、中央区ホームページの「市電倶楽部」をご覧ください。

.....【申し込み・問い合わせ】.....

市電の会事務局

〒060-8612
札幌市中央区南3条西11丁目 中央保健センター6階
札幌市中央区役所地域振興課内(まちづくり調整担当)
TEL(011)231-2400 内線471 FAX(011)511-7234

U R L <http://www.city.sapporo.jp/chuo/shiden/index.html>
E-Mail ch.shidennokai@city.sapporo.jp